

2018年

- 6月 6日 役員会  
10日 ラブアースマリゾン海岸清掃活動参加  
18日 例会 新入会員歓迎会  
26~29日 SOS子どもの村募金  
29~7/3日 64国際ゾンタ世界大会参加
- 7月 12日 役員会  
23日 例会
- 8月 8日 役員会  
20日 例会 テレビ取材 デイナーショー試食会
- 9月 5日 役員会  
10日 例会
- 10月 4日 役員会  
6日 チャリティーディナーショー(ゲスト:村上ゆきさん)  
収益金より SOS 子供の村、福岡市音楽朗読  
交流会他 2箇所へ寄付  
15日 例会
- 11月 7日 役員会 チャリティーディナーショー打ち上げ  
17日 福岡市音読・朗読交流会参加  
(参加校10校に盾などを寄贈)  
19日 例会 卓話 ゲスト JAWW 織田由紀子氏
- 12月 5日 役員会  
17日 例会 忘年会「リストランテKUBOTSU」

2019年

- 1月 9日 役員会  
21日 例会  
29日 SOS子どもの村 訪問
- 2月 2日 第15回地区大会説明会in北九州 参加(1回目)  
5日 女性デー普及のための市長表敬訪問  
6日 役員会  
18日 例会 還暦・古希お祝い会
- 3月 2日 第15回地区大会説明会in北九州 参加(2回目)  
6日 役員会  
9日 アドボカシー勉強会IN 姫路「児童婚と人口問題」参加  
11日 例会  
24日 ローズデー 講師:桂 由美氏
- 4月 3日 役員会  
22日 例会
- 5月 8日 役員会  
20日 例会 3月9日(土)に行われた、アドボカシー勉強会  
IN姫路「児童婚と人口問題」児童婚についての報告会を実施

寄付活動

- NPO法人 SOS子どもの村 JAPAN
- NPO法人 女性エンパワーメントセンター福岡
- NPO法人 アジア女性センター
- 福岡市音読・朗読交流会

第5期 新役員・委員会構成

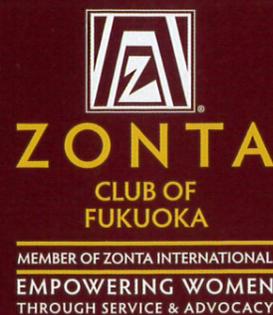
令和元年(2019年)6月1日 ~ 令和2年(2020年)5月31日

会 長	中村 クミ
副 会 長	境 貴子
書 記	浅野 さとみ 石川 弥生(エレクト)
会 計	橋本 由美子 野口 尚美(エレクト)
理 事	前田 廣子 黒木 周子 丸岡 恵理
監 査	納富 輝子
財務プログラム 委 員 会	●鬼武 江三子 ○古林 真由美 橋本 由美子 野口 尚美 黒木 周子
会員委員会	●段上 裕子 ○星子 美恵子 前田 廣子 丸岡 恵理 筒丸 尚子 酒井田 和美 富岡 美穂 本田 光美 伊東 麻央
アドボカシー (政策提言) 委 員 会	●末永 弘子 ○中野 都 納富 輝子 三宅 美紀子 占部 くす子 三浦 千登勢
国 連 広 報 委 員 会	●山田 富士子 ○西岡 明美 浅野 さとみ 石川 弥生 熊本真優子 加藤 晃子 鎌田 邦子
特別賛助会員	中丸 三千絵 浅野 守

●印委員長 ○副委員長

役員会: 第1水曜日 株式会社山田屋5F 19:00~  
定例会: 第3月曜日 グランドハイアット福岡 18:30~

発行日 2019年5月31日  
発行責任者 福岡ゾンタクラブ 会長 中村 クミ  
事務局 〒810-0021 福岡市中央区今泉1-22-20  
編集 国連広報委員会 委員長 山田 富士子



# 福岡ゾンタクラブ



会長  
中村 クミ

2015年に福岡ゾンタクラブが創設され、4年の月日が経ちました。

昨年度の振り返りと言えば、なんとと言っても、横浜の国際大会です。福岡ゾンタクラブから14名が参加することが出来ました。ゾンタストアにも初めて出店し、担当した最終日のバンケットも京都雅ゾンタクラブの皆様と一緒に、チケット交換、誘導、受付の仕事みんなで一生懸命お手伝いさせて頂きました。他国のゾンジャンとも片言の英語を駆使し、コミュニケーションを取れたことが一番の成果だと思います。私は途中で「あー、疲れた」と福岡ゾンタ創設時のガバナーで親しくさせて頂いている、豊田由紀子実行委員会事務局長にウっかり愚痴をこぼすと、「みんな、そうよ!」と明るく笑顔で返されました。本当、そうなんです。皆様、一生懸命、日本での国際大会が成功するよう、それぞれの担当職務を明るく全うされ、自分はまだまだなんだと、それも気持ちよく気付かせて頂きました。横浜の国際大会に参加し、また一昨年、福岡からCSWIに2名参加した折、国連のNPO組織のセッションでモデレータを務められた織田由紀子 JAWW (日本女性監視機構)副代表の卓話を聞くなどし、少しずつゾンタクラブが目指す方向が見えてきた昨年度です。

年度末には、ローズデーのイベントを例年より大きな規模で開催、また、姫路のアボカシー会議での児童婚と世界人口の話の報告会を福岡ゾンタのメンバーで開催など、これらを通して福岡ゾンタクラブの在り方を模索するような心がメンバー1人1人に芽生えてきたように思います。

最後に、忘れられない悲しい出来事がありました。北九州ゾンタクラブをSOMクラブとして設立した福岡ゾンタクラブですが、昨年は、その北九州ゾンタクラブの三隅佳子さんが永眠されました。福岡ゾンタクラブは現木下彰子ガバナーのお声かけで始まり、創設の頃、北九州からSOMのメンバーが数回福岡までお越し頂き、ゾンタクラブの説明や創設の方法を説いて下さいました。その時、亡き三隅佳子さんは会の予定は2時間なのに、2時間喋りっぱなしで、その勢い、熱意に我々チャーターメンバーは圧倒されたことを思い出します。そして、その熱意は、私たち福岡ゾンタクラブの記憶に永遠に残ることとなりました。一昨年は、国連が掲げる持続可能な開発目標SDGsの勉強会をして頂いたことを思い出します。横浜の国際大会では、美しいお着物姿を見せて頂いたこと、それからちょうど2ヶ月、9月7日、84歳のお誕生日に天に召されました。三隅さんの言葉で、「あなた方、まだ募金をすることの嬉しさが分からないと思う。大丈夫よ、私の年になれば、あー、募金できて嬉し〜って思うようになるの。本当だから。。。」私はずっとこの言葉を忘れません。きっと私もそんな気持ちになるんだって、今はまだ義務感としか捉えられなくてもさせて頂くことが喜びになる、そんな年齢の重ね方が出来たら何より幸せだと思っています。



故 三隅 佳子様

ゾンタクラブに入り、知らなかった様々な世界中の女性や女児の悲惨な状況を知ったり、地域においても恵まれない人々への関心が深まりました。でも、本当に有り難いのは志の高い方々と出逢えること、この歳になっても心をつかち合う仲間が出来ること、人から受ける影響が大きな力となります。私にもお役に立てることがあるんだと、ゾンタクラブに出逢えて、嬉しく、心から感謝致します。

本年度は、北九州で地区大会があります。北九州ゾンタクラブのメンバーは歴史も長く、ゾンタクラブへの造詣が深く、私たちもこの機会に北九州のメンバーの方々と交わりまた新たな学びがあるでしょう。そして、全国から北九州にいらっしゃるゾンジャンの方々との交流で福岡ゾンタクラブの意識が高まり、国際ゾンタ100周年に向けて、成長したクラブに育つことを期待しています。



副会長  
境 貴子

今期は第64回世界大会が横浜で開催され、大きなイベントを経験する記念すべき年でした。

66ヶ国、2300人のゾンジャンが横浜に集まりグローバルに交わる素晴らしい機会でした。1919年アメリカで生まれた国際ゾンタクラブは今年で100周年です。大きな節目に日本の地で世界中のゾンジャンと共に集えた事は、私たち日本人にとって大きな喜びでした。また、福岡ゾンタクラブはゾンタストアに出店し、帯をリメイクしたストールや花嫁衣裳の打掛の刺繍の一部を額にした物、手ぬぐい、袱紗入れ、書などを販売しました。世界のゾンジャンからは大好評で日本の文化を片言で紹介しながら、お互いを理解し合おうとする思いが、こんなに素晴らしいものなんだ!と国際交流の醍醐味を、身を以て感じました。そして同時に英語力の重大さを大いに感じるのでした。

毎年3月8日は「国際女性デー」(1908年3月8日にアメリカのニューヨークで女性労働者が参政権と労働条件の改善を求めて行ったデモを記念し定められ女性の活躍に向けて世界各国で取り組みが行われる日)の理解と意識をより多くの皆さんに深めて頂きたく、今年は福岡ゾンジャンが8名、高島市長を表敬訪問させて頂きました。その結果、福岡市民の皆様目にも触れていただけるように「国際女性デー」の事をホームページにあげて頂く事が出来ました。その他、今年もいくつかの取り組みをさせて頂きました。福岡市は女性の人口が多い街です。多くの女性が、子供を産み育て、社会で生き生きと活躍できるように、私たちゾンタクラブが出来ることを、これからも少しずつ実現して行きたいと思っています。そして、世界の女性と子供の貧困、虐待に対する改善に向けて国際ゾンタの取り組みにも、しっかりと勉強し参加し取り組んで行かなければならないと思っています。

4月6日には高松でエリアミーティング(エリアでのゾンジャンのトレーニング)がありました。徳倉康之(とくらやすゆき)さんの基調講演「共感を広げるジェンダー平等とは」というテーマのお話には、とても感銘を受けました。徳倉さんの奥様のキャリア形成や育児を通して男性側からの男女共同参画や子育て支援の在り方「HeForShe」に新しい意識変化を感じました。100年前に女性や女児の地位向上のために産声を上げたゾンタクラブが100年の時と共にようやく男性と共に「HeForShe」を考える時代がやって来たのだと。これから、若い世代の力に大いに期待しながらも私たちは何をしなければいけないか? 次の100年に向けて考えていかなければならないと身の引き締まる思いです。

福岡ゾンタクラブは、2015年に発足して4年が経とうとしています。まだまだ若いクラブですが、30名の会員が社会の管理職、専門職に就きながら、毎月の例会、役員会での出席率も高く、円滑な運営が出来ている事に益々「ゾンタ愛」が深くなってきているのを感じます。会員が一丸となって行っているチャリティーコンサート、ローズデーなどの行事計画では、それぞれに知恵や経験、行動力を最大限に発揮し、年々成長しているのを実感します。これも皆様に、ご理解頂き、ご協力ご支援を戴いているからこそと、心より感謝申し上げます。そして今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 村上 ゆき Charity Dinnershow

実行委員長 段上 裕子



2018年10月6日、福岡ゾンタクラブ第四回チャリティーディナーショーがグランドハイアット福岡にて開催されました。台風の影響がありましたが、弦楽四重奏が奏でる優雅な演奏の中、福岡市長はじめ420名という大変多くのお客様をお迎えすることが出来ました。収益はSOS子どもの村、女性エンパワメント福岡、アジア女性センターに其々寄付されました。

出演は、福岡県出身の村上ゆき氏。数々の企業のCMで、ヘブズボイスと称される美しい歌声を披露しているアーティストです。最後は会場が一体となり、楽しいコーラスで満たされてお開きとなりました。

回を重ねる度、成長する福岡ゾンタクラブに、お客様から温かい労いの言葉を頂戴しました。ご出席頂きました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。



### 2019年 / ローズデー

実行委員長 古林 真由美

去る2019年3月24日(日)、グランドハイアット福岡3F ザ・グランド・ボールルームにて、福岡ゾンタローズデー記念イベント「桂由美トークショー」が開催されました。今年は、世界的な活躍を現役で続けていらっしゃる著名な桂由美氏をお招きし、トークショーという形で、生き方や働き方への姿勢や思い、歩まれてきた軌跡を伺いました。来場者は246名。

「参加されるお客様の満足度」「国際女性デー/ゾンタの活動への理解」「次回ローズデーに繋がる成果を形に残す」この3点を目標に取り組んだ結果、参加者へのアンケート結果の数値や多くの感想がその成果を裏付けてくれました。(回収率95% 234名。参考になったと回答81%。感想やご意見記入率68%)

福岡ゾンタの団結力、ゾンジャンのスマートなおもてなしもあらためて実感でき、お客様へも確実にそれが伝わっています。今回のアンケートの分析結果を真摯に受止め次回に活かしていきたいと思えます。

ローズデー記念イベントが今後も継続され、ゾンタの活動や世界の女性/児童の現実への理解や関心を訴え続けていくためにも、日頃から自分自身の意識を高め、周りの人へ伝える為の創意工夫をする努力が大切だと感じます。

最後に、桂由美氏のお人柄の良さと、道のない道を一生懸命に歩まれてきた努力とパワーを直接感じることができたことが、今回の何よりの思い出となりました。

### ローズデー記念イベント

#### 桂由美トークショー



## ゾンタ国際大会

参加報告

理事 前田 廣子



6月29日から7月3日まで、2018ゾンタクラブ国際大会が日本で初めて横浜で開催されました。約2500名のゾンジャンが世界各国から一同に会し、福岡ゾンタクラブからも14名が参加しました。熱気あふれるビジネスセッション、華やかなフラッグパレード、厳かなメモリアルサービス、新会長の就任式など様々なイベントが催されました。5日間を通して海外の方々、ゾンジャンとして高いプライドを持ち強い意思のもと活動されていると強く感じました。そしてイエス・ノーとはっきり意思表示される姿を間近にし、大変刺激を受けました。また福岡ゾンタクラブではゾンタストアも開店し、普段の生活では交流出来ないような国の方々と、同じゾンタクラブの一員としての仲間意識と笑顔で交流を持つことができ、貴重な経験をさせていただきました。今回国際大会に参加し、あらためて国際ゾンタクラブの組織力、活動の素晴らしさを実感しました。



### 2019 エリアミーティング参加報告

納富 輝子



2019年4月6日(土)に高松で行われました。今回の基調講演は、徳倉康之氏。自らが「HeForShe!」の実践者。ご自身の長男誕生時にキャリアを持つ妻の働き方を夫婦で相談しその結果、夫である徳倉氏が8か月の育児休暇を取得しました。男性が育児に関わる事で見えてきた施設の不備(男性が使用できる授乳室など設備の不足など)を実感され、男性の立場で内閣府男女共同参画連携推進会議の有識者議員として活躍され「イクメン」「イクボス」の提唱を続けていらっしゃるお話でした。ワークショップ「ロバート法を学ぶ」はロープレを交え、わかりやすい内容でした。早速福岡ゾンタの例会で疑似体験をして盛り上がりました。

### 例会卓話

会員委員会委員長 段上 裕子

平成30年11月19日福岡ゾンタクラブ例会にてJAWW(日本女性監視機構)副代表 織田由紀子さんの卓話を開催しました。表題は「ジェンダー平等と女性のエンパワメントの国際的取り組み」。織田氏は、誰もがのびのび暮らせる世の中を目指し活動するジェンダー専門家。日本は、ジェンダーギャップ指数114位/144ヶ国。問題は何か? どうしたら前進できるか? まずは声をあげる。行動する。声が集まると影響力になる。例えば#metoo運動。福岡ゾンタクラブのメンバーにもCSW国連女性地位委員会に行き、世界の動きをみて、活動の選択肢を広げて、日本におけるジェンダー平等を是非進めて欲しい、またこの事はゾンタクラブの取組ともリンクしていると話されました。

### ラブアースに参加して

理事 黒木 周子

6月10日に百道浜海浜公園にてラブアースの活動に、今年は、9名で福岡ゾンタとして3回目の参加となりました。海浜公園のごみ拾いですが、他の団体の方々と協力してあっという間に終わることができました。今回若い方の参加が増えたと感じました。爽やかな海風にふかれごみ拾いというとても地味な活動ですが、こういう活動の積み重ねも大切なボランティアなんだと満足感を感じられた1日でした。

### 福岡市音読・朗読交流会

加藤 晃子

2018年11月17日(土)10:00~12:30 福岡市早良区市民センター大ホールにて福岡市教育委員会主催による第9回福岡市音読・朗読交流会が行われ、市内10の小学校、計およそ270名の児童が参加しました。今年も福岡ゾンタクラブでは参加された各学校へ記念の盾ならびに児童全員にゾンタオリジナルエコバッグとファイルを贈呈しました。



### 忘年会

理事 丸岡 恵理

12月17日、リストラテックkubotsuにて、マジシャンのモーリーさんをゲストにお呼びして、忘年会を行いました。間近で、カードマジックや、コインマジックを見ることができ、大いに盛り上がりました。



### 例会報告会

#### Ending Child Marriage (児童婚の終焉) 知るべきその実態

～人口増加の著しいアジア、アフリカでは女の子に何が起きているのか～

アドボカシー委員会委員長 末永 弘子



結婚式に呼ばれた13歳の少女。実は本人が花嫁だった。(アフガニスタン)

去る3月、アドボカシー委員会の一員として姫路で行われた勉強会に参加しました。児童婚と人口問題についての講演でした。そこで、深く感じ入ったのは児童婚の実態とその悲惨さです。福岡ゾンタのメンバーには、先ずこの現実を知らせる事が最優先と思ひ「人口増加の著しいアジア・アフリカでは女の子に何が起きているのか?」このテーマに沿って、自分なりの解釈も加え、報告会を行いました。開催に際しては自発的に有志達が補佐役を務めてくれました。ゾンタの一員として共に学び、意見を交換しながら世界的な視野を広げる良い機会となりました。